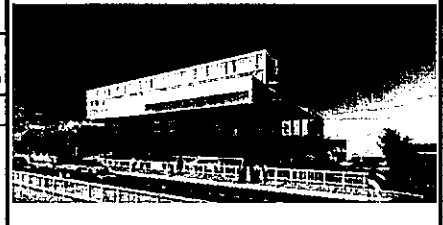


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	松井山手Spa & Hotel水春 新築工事	階数	地上5F地下1F
建設地	京都府京田辺市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,600 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,395 時間/年(想定値)
建物用途	集会所,ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年10月 予定	評価の実施日	2017年6月29日
敷地面積	8,295 m ²	作成者	生田雅人
建築面積	4,289 m ²	確認日	2017年8月1日
延床面積	8,922 m ²	確認者	瀬川治



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超</p> <p>瀬川</p> <p>このグラフは、一般的な建物(参照値)と比べてライフサイクルCO₂排出量を評価者自身の計算(個別計算)により算出した結果を示しています。LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート(個別計算)」を参照されたい</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0</p>
------------------------------------	--------------------------------------	---

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4</p>
---------------------------------------	--	---------------------------------------

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<p>温浴エリアとホテルエリアの利用者並びに従業員の動線が交わらないよう配慮しました。また癒し感と落ち着きが求められる温浴エリアと非日常のホテルエリアを微かな一体感で融和をはかるべく共用部のデザインを計画しました。</p>		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>外壁の室内側には断熱材(硬質発泡ウレタンt25)を吹き付け、室内の温熱環境に配慮しました。</p>	<p>1階ロビー上部を吹き抜けとし、空間の広がりを出しました。</p>	<p>敷地の高低差を生かした配役計画とし、建物による周辺への圧迫感のないよう配慮しました。</p>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>太陽光パネルを設置し、自然エネルギー利用に配慮しました。</p>	<p>内装仕上げ材はすべてF☆☆☆☆としました。</p>	特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される